

2021 年度事業報告書

事業の状況

I. 公益事業

1. 学術講演会の開催

第 117 回日本精神神経学会学術総会を、木下利彦会長、本多義治副会長、堤俊仁副会長のもとに、2021 年 9 月 19 日（日）～11 月 30 日（火）に開催した。COVID-19 の感染拡大に伴い国立京都国際会館による現地開催と、WEB におけるオンデマンド配信のハイブリッド開催とし、「革新と伝統が紡ぐ質の高い精神医学」をテーマとし、特別講演 4 題、会長講演、教育講演 56 題、委員会シンポジウム 34 題、シンポジウム 92 題、ワークショップ 17 題、Fellowship Award Symposium、市民公開講座を行い、一般演題（口頭・ポスター含む）379 題とあわせて活発な発表、討論がなされた。参加者数は延べ 8,700 人を超え、盛会のうちに終了した。

II. 機関誌刊行物事業

1. 精神神経学雑誌（和文誌）の刊行

・第 123 巻第 4 号より第 124 巻第 3 号まで月刊で 12 号、延べ 932 ページを刊行した。

（発行部数：第 123 巻第 4 号～12 号、第 124 巻第 1 号～3 号 約 7,200 部）

・学術総会及び各地方会の優秀一般演題に対し、投稿促進のため「精神神経学雑誌投稿奨励賞」を授与した。

＜精神神経学雑誌投稿奨励賞（学術総会部門）＞

青木 宣篤、白倉 瞳、宗 未来、樋口 早子、本山 美久仁、吉川 茜

＜精神神経学雑誌投稿奨励賞（地方会部門）＞

辻 悠里、和田 努、山本 健介、津山 雄亮、内藤 大

2. Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の刊行

・第 75 巻 第 4 号～第 12 号、第 76 巻 第 1 号～第 3 号までの 12 号分、計 402 ページを刊行した。

（冊子体発行部数：各号 約 400 部、冊子体については 2 号分を 1 冊とし、計 6 冊発行）

III. 委員会活動事業

下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。本学会基本理念のもと、精神医学・医療・保健・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組んだ。委員会活動は以下の 6 部門から構成され、幅広く活動を実施した。活動内容の詳細については、別紙・2021 年度委員会活動報告を参照いただきたい。

ー 2022 年 3 月時点での各部門に属する委員会（計 73 委員会）

■ 学術・教育部門

1. 精神科用語検討委員会／精神科病名検討連絡会

2. 精神神経学雑誌編集委員会／機械翻訳システム検討班

3. PCN 編集委員会／PCN を育てる PI ワーキンググループ
4. PCN Reports 編集委員会
5. 精神医学奨励賞・精神医療奨励賞選考委員会
6. フォリア賞選考委員会
7. 学術総企画委員会／企業展示に関する検討班
8. 精神医療・精神医学情報センター運営委員会
9. ICD-11 委員会
10. 精神療法委員会
11. 小児精神医療委員会
12. 司法精神医学委員会
13. 精神医学研究推進委員会
14. 認知症委員会
15. eラーニング編集委員会
16. ガイドライン検討委員会
17. 精神医学・精神医療に関するパラダイムシフト調査班

■ 専門医制度部門

1. 専門医制度常任委員会／精神科サブスペシャルティ board 設立準備委員会／専攻医募集定員に関する検討班／専門医制度情報システム構築班／多様な地域における診療実績に関する検討班
2. 専門医研修委員会
3. 医師臨床研修制度に関する検討委員会
4. 専門医試験委員会
5. 研修プログラム審査委員会
6. 生涯教育委員会
7. 指導医資格認定委員会
8. サマースクール実行委員会
9. 精神科薬物療法研修運営委員会
10. 精神科専門医テキスト作成委員会

■ 精神保健・医療・福祉部門

1. 精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会／急性期治療のあり方検討委員会／慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会／地域ケアにおける自立支援のあり方検討委員会
2. 精神保健福祉法委員会
3. 身体的拘束に関する特別委員会
4. 精神保健に関する常任委員会／産業保健に関する委員会／自殺予防に関する委員会／親子・学校・女性に関する委員会
5. 医療経済委員会
6. 精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会／オンライン精神科医療検討作業班／精神科医の業務に関する検討班
7. 心理職に関する委員会
8. アンチスティグマ委員会
9. ECT・rTMS 等検討委員会
10. 多職種協働委員会
11. 性同一性障害に関する委員会
12. 薬事委員会／クロザピン検討班
13. 災害支援委員会

■ 法・倫理部門

1. 法委員会
2. 医療倫理委員会
3. 倫理委員会
4. 神出病院関連問題特別委員会

■ 広報・国際部門

1. 国際委員会
2. 広報委員会
3. 出版委員会

■ 庶務部門

1. 学会諸規則委員会
2. 情報システム委員会
3. 財務・特定資産検討委員会
4. 代議員選挙管理委員会
5. 利益相反委員会
6. 情報管理委員会
7. 代議員総会議事運営委員会
8. 男女共同参画委員会
9. 各種委員会活動評価委員会

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

1. 精神医学・精神医療奨励賞事業

・精神医学奨励賞

受賞者：高宮 彰紘、西岡 将基

・精神医療奨励賞

受賞団体：S・IPS 個別就労支援チーム（代表会員 林 輝男）、
E-GUIDE プロジェクト（代表会員 橋本 亮太）

2. フォリア賞事業

受賞者：足立 祥・他

受賞論文：“Association between the serum insulin-like growth factor-1 concentration in the first trimester of pregnancy and postpartum depression”

(Psychiatry and Clinical Neurosciences Volume 75, Issue5 p159-165, May 2021 掲載)

V. 国際交流事業

世界精神医学会（WPA）、その他精神科関連の国際学会との国際学術交流をはかった。
具体的には、以下のような活動を実施した。

- ・年次学術総会において、英語での演題発表ならびに海外からの参加者の受付を行った。
- ・海外若手精神科医を第 117 回学術総会にオンラインで招聘し、以下シンポジウムの企画・実施、ならびに「JSPN Fellowship Award」を授与した。

<第 117 回学術総会 Fellowship Award Symposium>

- ・ Gambling disorder
- ・ Case Vignette (Reactive attachment disorder)

<JSPN Fellowship Award 2021>

受賞者一覧

Thiago Roza (Brazil)

Genis Seera (Thailand)

Kelly Ridley (Australia)

Navin Dadlani (Australia)

Yee Xiong (USA)

Chun Lun Lai (China)

Nuno Silva (Portugal)

Bikram Kafle (Nepal)

Lucy Stirland (United Kingdom)

Ching-hua Julie Lee (Taiwan)

Fahimeh Saeed (Iran)

Muftau Mohammed (Nigeria)

- ・ 2020 年に国際学会にて口頭発表を行った若手会員に、「国際学会発表賞」を授与した。

<個人発表部門>

磯部 昌憲

<シンポジウム組織発表部門>

青木 悠太

VI. 専門医認定事業

- 2021 年 4 月 1 日から新専門医制度のもと、549 名の専攻医が研修を開始した。
- 研修実績管理システムにより、専攻医の登録や研修制度の運用・管理を行った。
- 研修に関する各種申請の審査を行った。
- 研修手帳購入受付（再発行）を行った。
- 専門医試験受験資格審査（学会制度研修手帳審査・新制度研修修了判定内容確認）を行った。
- 2021 年 10 月 3 日に「精神科専門医認定試験一次試験（筆記試験）」を実施した。また、一次試験合格者において 2021 年 11 月 27 日、28 日の両日に「精神科専門医認定試験二次試験（口答試問）」を実施し、新たに精神科専門医 453 名を認定した。なお、453 名のうち 298 名は学会専門医制度、155 名は新専門医制度における専攻医であり、新専門医制度の 155 名においては、日本専門医機構によって機構専門医として認

定された。

- 2021年9月21日に生涯学習活動の推進のための「生涯教育研修会」(3演題)を開催し、後日eラーニング配信した。
- 2022年3月より専門医を対象に、「2021年度 精神科薬物療法研修」を実施した(eラーニング)。
- 精神科専門医制度研修施設の新規認定審査、更新認定審査を行った。(新規4施設、更新67施設)
- 新専門医制度 精神科専門研修プログラムの申請について一次審査を行った。(1,255施設、233プログラム)
- 精神科専門医制度指導医の新規審査、更新審査を行った。
- 精神科専門医の資格更新審査を行った。
- 精神科専門医資格認定更新にかかる研修(専門医単位取得対象)としての学会、研修会、研究会等の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 日本専門医機構の専門医整備指針に基づき、新専門医制度の運用について、専門医制度常任委員会を中心に検討を行った。
- その他、専門医制度における各委員会において、各担当事項について検討を行った。

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考え活動した。

■ プレスセミナーの実施

精神医学・医療にまつわる多くのセッションを扱う機会である年次学術総会の2週間前に、より多くの方にその内容に興味を持っていただき、また、精神医学・医療への理解を深めていただく目的で、報道関係者を対象にプレスセミナーを実施し、40名を超えるメディア関係者が参加した。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員専用ページに、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報を本年度も多く配信した。

2013年度に開始した精神科専門医更新のためのeラーニングに今年は31本の動画を新規掲載した。

■ メールマガジンでの情報提供

メールアドレスを登録している会員に適時、メールでの情報配信を行った。

以 上